

自分らしく 最期のときまで

団塊の世代が全て後期高齢者（75歳以上）となる2025年、
磐田市の高齢化率はおよそ30%になると見込まれています。

世界でも例をみないスピードで超高齢社会[※]に突入した日本では、
医療や介護など、社会保障費の急増が差し迫った課題となっています。

これからも住み慣れた地域の中で、
自分らしい生活を最期のときまで続けられるように、
市では「**地域包括ケアシステム**」の構築を進めています。

（※）一般に、高齢化率が21%を超えると超高齢社会と分類されています

問 高齢者支援課（iプラザ3階）

☎ 0538-3714831
FAX 0538-3716495



「地域包括ケアシステム」とは？

地域包括ケアシステムとは、「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしく生活したい」と望む人が、医療や介護などの必要なサービスを受けながら生活を続けられるよう、**地域全体で支える仕組み**です。

■ 地域包括ケアシステムのイメージ

病気になったら…

〔医療〕



かかりつけ医への通院や医療機関への入院、自宅での在宅医療・訪問看護など、状態に応じた医療が受けられる体制を整える。

介護が必要になったら…

〔介護〕



介護が必要な人の心身の状態や環境などに合わせて、さまざまな介護サービスが受けられる体制を整える。

〔住まい〕



〔生活支援〕



買い物やごみ出しなど日常生活の困りごとに対して、さまざまな生活支援サービスが受けられる体制を整える。

〔介護予防〕



地域のふれあいサロンやいきいき百歳体操への参加など、要介護状態にならないよう介護予防に取り組む。

いつまでも元気に暮らすために…

高齢化による要介護者の増加

市の高齢化は年々進み、令和2年3月末には65歳以上が3・6人に1人、要介護の状態になりやすい75歳以上も7・3人に1人となっています。また要介護認定者や認知症の人も増加傾向にあり、介護が長期間にわたると家族の負担も大きくなります。

見守り支える仕組みづくり

一方、1人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯も年々増加し、日常生活に必要な買い物やごみ出しなどに困難を感じる方も増えています。

また、高齢者に限らず、災害や急病などの緊急時に不安を感じる方も多く、今後ますます地域で見守り支える仕組みづくりが必要となっています。

そのため市では、安心して暮らし続けられるまちであるために、地域包括ケアシステムの構築を推進していきます。

一人一人にとっての地域包括ケアシステムとは

地域包括ケアシステムを実現するためには、

自助（個人） 介護予防への取り組みや定期的に健康診断を受けるなどの自分自身のケア

互助（近隣） 家族や親戚、地域での暮らしを支え合い

共助（保険） 介護保険・医療保険などの利用

公助（行政） 生活困難者への対策として行う行政サービス

という考えに基づき、地域住民・介護事業者・医療機関・自治会・ボランティア団体・市などが一体となって地域全体で取り組むことが求められています。

支え合いのまちを目指して

隣の人のごみ出しを手伝ってあげることも「地域包括ケアシステム」の1つです。地域で助け合うことの大切さを知り、誰もが可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるま

ちを目指しましょう。

地域包括ケアシステムの拠点

ページ番号 1001892

地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者が地域で安心して生活できるように、市民の皆さんのさまざまな相談にお応えするために、市が設置した相談窓口です。

Q. 地域包括支援センターってどんなところ？

▶ 地域の高齢者とそのご家族の介護に関する「地域の身近な相談窓口」です。保健・福祉サービスのご紹介などを行っています。

Q. 相談に応じる職員はどんな人？

▶ 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員（ケアマネジャー）などの保健・福祉分野の専門職員が相談に応じます。相談内容・質問内容の秘密は固く守られますのでお気軽にご相談下さい。

Q. 具体的にどんなことをしているの？

- ▶ 高齢者やその家族、近隣に暮らす方の相談を受け、適切なサービスにつなげます。
- ▶ 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう生命や財産に関する権利をまもります。
- ▶ 要介護状態となるおそれの高い人が自立して生活できるよう、介護予防の支援をします。
- ▶ 高齢者にとって暮らしやすい地域にするためのネットワークづくりや地域のケアマネジャーの支援をします。

Q. 料金は必要なの？

▶ 相談料金は無料です。

